

「私の就活は失敗と挫折の繰り返し。でも、いつも誰かが見守り支えてくれた」。一。セイレイ興産ヤンマー保険事業部で営業に携わる岩永英里子さんは苦しかった昨年秋の就活をこう振り返った。事務から営業への転身も「会社が私を認めてくれた証。それが自信になり、嬉しかった」という。「失敗すればそこから学ぶ。それを糧に前に進む」。自分らしく行動することが内定として実を結んだ。

失敗から学ぶ 私らしく行動

学ハロ大阪新聞

発行所
厚生労働省 大阪労働局
大阪新卒応援ハローワーク
〒530-0017
大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル18階
TEL 06-7709-9455
FAX 06-7709-9458
http://osaka-young.
site.mhlw.go.jp

第37号

2017年10月20日

f 大阪新卒応援ハローワーク



2 大阪労働局が就労型
3 インターンシップ

4 読書、旅行、寺巡り…
就活ストレス解消策

◆当所への登録は昨年9月。当時の就活はどんな状況だったか。



公務員を志望していたが合格には至らなかった。民間企業への就職も考え始め、友人に相談したところ、大阪新卒応援H Wを紹介される。当時、不採用のショックも大きく民間に応募するか迷いもあった。気持ちも整理できておらず、今からでも大丈夫かとあせりや不安で一杯だった。

◆その後の就活はどうだったか。

H W求人へ積極的に応募した。窓口では書類の添削を受けたり、面接練習を何度も繰り返ししたが、年末までの3カ月間、内定はなく上手くいかなかった。気持ちはズタズタで友人にも会いたくない。ストレスが溜まり、引き籠るようになった。これ

セイレイ興産ヤンマー保険事業部 岩永英里子さん

◆それでも就活を継続できたのは。一つ目は、相談員の優しい対応や適切なアドバイスがいつも私に元気を与えてくれ、通い続けるモチベーションになった。二つ目は兄が「お前の今の悩みは長い目で見ると、思っているほど大変ではないよ」と言葉をかけてくれ、気持ちが楽になった。三つ目は履歴書が通らず悩んでいる時、夜遅くまで何時間も友人が相談に乗ってくれたことだ。

◆そんな時、今の会社に出会う。

セイレイ興産の事務職の求人が目に留まり、企業説明会のレギュラーマッチングブースに参加した。書類が通り面接に臨んだところ、採用担当から「営業職はどうか」と打診された。事務職ではないことに悩んだが、それ以上に「会社が私に営業ができると思うてくれた。私のことを認めてくれる担当者がいた」ことが嬉しかった。家族からの後押しもあり、営業職の面接を受けた。

◆そして今年1月19日。

初めて内定を得た。多くの友人に

事務から営業に転身「会社が私を認めてくれた」

電話で伝える。翌日には大阪新卒応援H Wにも報告へ。元気を感ずるために通い続けたことが実った。

◆今の仕事でのやりがいとは何か。

保険業務の基本的な仕事を先輩に聞きながら覚える日々。入社当初は上司から言われたことだけをやっていく感じだったが、今ではお客様のために、会社のためにどうしたらよいか、常に考えられるようになった。

◆就活では何を大切にしてきたか。

家族や友人ら周りの方々の支え、そして頑張ろうと諦めなかった自分自身だ。ここで諦めたら支えてくれた方に申し訳ない。そんな思いで就活を続けてきた。事務職志望も友人からは「特に向いている仕事とは思えないよ」と指摘され、ハツとさせられた。自分が周りにどう見られているかという自己理解も大切だ。思い込みはダメなんだと気付いた。

◆就活中の後輩にメッセージを。

過去の失敗をあまり引き摺らないことだ。行動がなければ失敗も成功も生まれにくい。失敗すればそこから学び、また前へ進める。「私は私、私らしく行動し続ける」。そんなあなたを見守り、支えてくれる人が必ずいることを信じて欲しい。

秋から冬の就活必勝セオリー

友人が次々と就活を終えるこの時期。不安と焦りを抱えながら活動した先輩は就活をどう乗り越え内定を得たのか。「応援メッセージ」にその鍵を探った。

【第一のセオリー】とにかく諦めず行動する。私は周囲に比べて就活を始めたのが遅かったのですが、誰よりも説明会に参加した！と言えるくらいたくさん説明会に参加しました。何をやりたいか分からなかったり、悩んだりすることたくさんありますが、とにかく行動することが大切だと思います。」（金融業界、10月内定の女性）

【第二のセオリー】一人ぼっちで就活せずサポートを得る。「海外留学を終え帰国し何もわからないまま始めた就職活動。多くの不安を抱え一人で悩み、何度も挫折そうになりましたが、大阪新卒応援H Wで支えてもらい就活に取り組むことができました。行き詰ってしまった時には一人で悩まず誰かに相談することが大切と学びました。」（貿易事務、2月内定の女性）

友人が次々と就活を終えるこの時期。不安と焦りを抱えながら活動した先輩は就活をどう乗り越え内定を得たのか。「応援メッセージ」にその鍵を探った。

【第一のセオリー】とにかく諦めず行動する。私は周囲に比べて就活を始めたのが遅かったのですが、誰よりも説明会に参加した！と言えるくらいたくさん説明会に参加しました。何をやりたいか分からなかったり、悩んだりすることたくさんありますが、とにかく行動することが大切だと思います。」（金融業界、10月内定の女性）

【第二のセオリー】一人ぼっちで就活せずサポートを得る。「海外留学を終え帰国し何もわからないまま始めた就職活動。多くの不安を抱え一人で悩み、何度も挫折そうになりましたが、大阪新卒応援H Wで支えてもらい就活に取り組むことができました。行き詰ってしまった時には一人で悩まず誰かに相談することが大切と学びました。」（貿易事務、2月内定の女性）

学生「給与もらい、より責任感強まった」

大阪労働局は今年8月、就労型のインターンシップ（就業経験）事業を初めて実施した。「就労型」はハローワークが職業紹介し、学生と受け入れ先の企業が雇用契約を締結。学生は賃金を得ながらより実践に近

ミライト・テクノロジーズ

「コードの色によって配線の位置が違おうので気を付けて」一。神戸市東灘区にあるミライト・テクノロジーズの研修所。丹生千晴さんと石塚巧磨さんは社員の指示を受けながら、青や緑色のLANケーブルをコンセントのジャックに次々とはめ込んでいった＝写真⑤。

「配線は一つ間違えると通信に障害が出る。



スピードと正確性が求められる仕事ですね」初めての作業に多少、戸惑いながらも、二人は丁寧に一つ一つ仕上げていった。

同社は1960年、情報通信エンジニアリング企業として創業。常に新しい価値を創造する「総合エンジニアリング&サービス会社」としてお客様をはじめ広く社会から信頼されるよう展開してきた。

働き方では、厚生労働省から女性活躍推進法で定められた「えるぼし認定」を受けた。「今年は新入社員50人のうち女性が13人である。女性の応募者が少ない中、今後も採用数の2割を目標として、文系理系関係なく積極

「えるぼし認定」は女性の活躍を推進する取り組みについて行動計画の策定や届け出を行い、その実施状況が優良と認められた企業に厚生労働省が女性活躍推進法に基づき認定する＝図はマーク。



工具手にケーブル切り出し、仕事の意味実感

的に採用していきたい」と同社HRD本部（人財開発本部）人事部。

インターンシップだが、学生はまず、あいさつや名刺の渡し方などビジネスマナーを身に付ける。「礼儀は全ての基本。うちの社員であるという意識をしっかりと持って欲しい」と同社人事部の嵐主査。研修所で使用する工具類の点検や材料の準備などの仕事を割り当てた。「現場で汗をかくことが大切だ。二人にとって様々な仕事を知る機会になれば」と期待を寄せる。

「有償型」について学生の考え方はどうか。

「給与をもらうからこそ、より責任ある仕事が任せてもらえる。『私を使ってください』という気持ちで臨んだ」と丹生さん。

仕事には必ず意味があることを知ったという。例えばケーブルの切り出し作業である。「光ファイバーはこんなに細いのかと初めて知った。雑に切れば先端でケガをする。この部品の用途は何か。どうすれば使いやすくなるか、自ら考え作業に取り組んだ」

石塚さんも「切り出す作業は失敗もあったが、慣れるとともにコツが掴めた。仕事はやはり目的を持って取り組むことが大切だ」と話す。加えて「人から信用を得るにはどうすればいいか。しっかり行動することで周りの評価は変わると分かった。迷った時は自分なりに考え動こうと思う」と決意を語る。

「社員の仕事ぶりを見て自分が目標とする社会人像に出会えた。私は今、学生と社会人の境目にいる。インターンシップは働く意味を考える良い機会になった。ぜひ就活での仕事選びに生かしたい。そのためには、もっと頑張らなきゃ」と丹生さん。

現場での経験が彼らの成長を加速させる。

「ユースエール」や「えるぼし認定」の優良企業で実務を体験

入社前に抱いていた職場への期待や理想と現実のギャップに衝撃を受けることを「リアリティー・ショック」という。程度の差はあれ新入社員の約6割が感じるといふ。内定前、内定後に聞けず、できるだけ業界や企業の情報を集めて欲しい。それでもなお、入社してみないと分からないことはあるだろう。多くの人がギャップを経験しているのと知っておいて欲しい。今のうちに当施設の窓口で相談して、少しでも不安を解消していただきたい。

（大阪新卒応援ハローワーク所長）

「リアリティー・ショック」

再びの登場です。まずは前回の解答から。自然界で生きていけない唯一の動物、それは蚕です。完全に家畜されて

じギャグだね。例えば一。

●赤児の行水…たらい（お金が足らい）で泣いている⇒資金不足。

●雨降りの太鼓…ドンと鳴

雑談/ススめ・2

営業一筋30年のJS指南

いて自分では餌を捕れません。今回は、なにわのシャレ言葉について。大阪は商いの街。商売で角がたたないように笑いを交えて交渉します。おや

らない（どんならん）⇒どうしようもない。

大阪シャレ言葉は300以上もあります。興味ある方は企業担当のJSまで。

大阪労働局が就労型インターンシップ

高松テクノサービス

「事務は反復作業が多く、スピードと正確さが求められる。入力業務を通じて集中して取り組む大切さが実感できた」

経理に配属された谷口誠治さんは力強くこう語る。仕事は工事に関わる伝票や売り上げのデータを入力する作業だ。

大学で簿記2級を取得した。それが実践の場でどう生かせるか。「数字の入力には自信がある。ケタ数を間違えないよう何度も確認した」と気を引き締める。



「インターンシップの目標は、自分はどうだけ仕事ができるか、そして自分の強みと弱みは何かを知ることだ」と谷口さん。

「就職活動では自己分析がカギを握る。自分の強みと弱みを知り、どんな仕事に生かせるか。それを掴みたかった。入力業務を通じて集中力はある、と確認できた。ただ、時間がかかった。あまり効率的でなかったのは反省点だ」と振り返る。

坂田和真さんは営業担当の社員に同行し得意先を回った。気温35度を超える猛暑の中、近く着工する工事の打合せである。

「実際の取引で営業担当は顧客とどんな雰囲気、どんな会話を交わしているのか。それが知りたかった」。営業志望だけに社員の一挙一動に注目する。

営業は顧客との信頼カギ 事務はスピードと正確性

営業担当の社員は冷却装置の再利用や、水圧式ポンプはどちらが安くなるかを顧客に分かり易く説明。「技術的な話はチンプンカンプンだったが、顧客の質問に丁寧に答える姿が印象的だった」という。

「柔らかい物腰と何でも相談してくださいという雰囲気。顧客から『おたから工事を頼めるんやで』と言われた時、本当に信頼されているんだなと分かった」

プロの営業の真髄に触れた瞬間だった。就労型インターンシップについて谷口さんは「給与をもらうことによってやりがいと責任感が強まった」。坂田さんも「アルバイトとは明らかに違う。社員の話をしっかり聞き、学ぶ姿勢で取り組んだ」と話す。総務・経理部の北村優課長補佐は「責任ある仕事を任せられるのが大きい。学生アルバイトで営業は経験できない。お金をもらいながら現場で学び、責任ある仕事もできる。社会に出てからどんなことをすればいいか、少しでも理解してくれたのではないかと評価する。

「職場はピリピリした雰囲気はなく集中できる環境がある」と2人。社風の良さを実感できたようだ。坂田さんは顧客訪問の際、時間管理が参考になったという。

「話が長くなった時、どう切り上げるか。訪問時間は移動時間を計算して決める。このノウハウは就活に生かれます」一。

何かをしっかりと掴んだ5日間だった。

高松テクノサービス 賃貸や分譲マンション、倉庫などのメンテナンスやリフォームを手掛ける。若者の雇用管理が優良な企業を厚生労働大臣が認定する「ユースエール」の認定を受けている。



厚生労働省によると、今年3月卒業した大学生の就職率は平成29年4月1日現在、内定率が97・6%と過去最高を記録し好調だ。一方、卒業後3年以内の離職率は32・2%と依然、高止まりが続く。このため同労働局は学生に職業への理解をより深めてもらおうと就労型インターンシップを計画。モデル事業として本年と話している。

度実施した。受け入れ企業は高松テクノサービス（建築リフォーム・大阪市）とミライト・テクノロジーズ（電気通信工事・大阪市）の2社。採用担当者は「責任ある仕事を任せられる。企業と仕事への理解を深めてもらうチャンス。業界を知ってもらえてよかった」

採用担当者「企業や仕事に理解を深めてもらえるチャンス」

2019年卒業予定の大学生や大学院生、短大、専門学校生の登録が12月1日から大阪新卒応援ハローワークで始まる。それに合わせ窓口での相談や各種セミナーなど支援の一部が解禁される。同所は「就活本番を前に、就活の方法が分からない、自己分析や業界、職種研究が不十分だと感じている方をJS（ジョブサポーター）が内定までしっかりと支援する。友人と誘い合わせ、登録に来て欲しい」と呼び掛けている。

12月から解禁される支援メニューでは、志望動機を書いたり自己分析ができる自習用のPCやインターネット用のPCが使える。2018年2月22日と23日には業界研究のイベントを開く予定。

就活川柳

就活生の喜怒哀楽を、大阪新卒応援ハローワークのJSが詠みました。

この辛さ やった者しか分からない

祈るだけ 君の旅立ち 見送って

泥臭く 人生の岐路 決めた君

読書、旅行、スイーツを食べる、スポーツ観戦…

あなたのストレス対処法は？

これなら絶対に効果あり、というものが1、2種類より「えっ、そんなことでも」というものが100種類くらいある方が良いといわれている。効果てき面だと思っていた対処法が思うように効果があがらないことや、もしくはストレスが増すという場合もあるからだ。飲酒や食事などは対処法としてよく聞かすが、良い加減であればストレス軽減につながる一方、過ぎれば逆効果となる。

それではまずストレス対処法を洗い出してみよう。例をあげると一。

読書、運動、スイーツを食べる、爪を切る、試食めぐりをする、書類を破り捨てる、大笑いをしたことを思い出す、ネコの画像を見る、手を洗う、散歩する、旅行、カラオケ、スポーツ観戦。

次にこれらの方法がいつどのような場面で使うことができるのかを整理すると…。

日中活動（学校の授業、就職活動、仕事）の合間。

日中活動が終わってから就寝までの時間。

休日。

それぞれがどの程度、効果があるかの確認も必要。

自分に合った対処法を良いタイミングで使い、できるだけ早め早めにストレスに対処していくことが大切だ。それでも対処しきれず、調子を崩している期間が長引くようなら医療機関での相談をおすすめする。

医療機関への相談となると、敷居が高い場合は電話でメンタル相談ができるところもある。

こころの健康相談統一ダイヤル0570-064-556▼働く人の「こころの耳電話相談」0120-565-455▼よりそいホットライン0120-279-338 ※それぞれ受付時間などが違います。HPなどで確認してください。

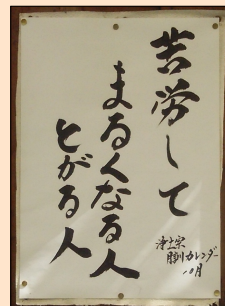
長引くなら医療機関で相談を

生きている限り私たちはストレスから逃れられない。そんな相手なら少しでも上手に付き合っていきたい。そこで考えておきたいのが自分にとってのストレス対処法である。あなたのストレス対処法は、どんなもので、いくつあるだろうか。

座禅や写教、宿坊体験など神社仏閣を訪れる人が年々、増加傾向にあるようです。日本文化に慣れ親しみたい外国人観光客にも人気のスポットですね。手入れが行き届いた庭園を眺めたり、静寂な雰囲気身に委ねると都会の喧騒を忘れ、心が落ち着き、あすからの活力が湧いてきます。

お寺の片隅に貼られている「御言葉」

Ⅱ写真Ⅱをご存知でしょうか。参拝者向けにお寺が発信するありがたいメッセージ。各お寺のペースによりありますが定期的に更新されています。



そうだ、お寺に行こう

います。普段、筆で書かれた文字を目にする機会が少ないので妙に新鮮さを感じます。言葉も短い文章の中に核心をついたものが多く、自分の日頃の行いを反省することもしばしば。人生は山あり谷あり、絶対調の時もあれば不調の時もあります。うまくいかない時は流れに身を任せるのが一番。言葉の力に頼る方法もその一つにあると思います。

一度、「御言葉」を探しにお寺を訪れてみてはいかがでしょうか。

◆

心が落ち着きリフレッシュできる場所をJ S（ジョブサポーター）が訪ねました（本文中のお寺は京都市中京区・天性寺）。

◆

企業選びや求人紹介、お悩み相談… あなたの大学で

来年3月の卒業までに就職先を決定する目的で大阪新卒応援ハローワーク（HW）の出張相談会が10月から始まりました。プール学院大では10日、J Sが短期大学部の2年生2人から相談を受けました＝写真。

今年の傾向についてキャリアサポートセンターの課長は「昨年同時期よりも内定を得ている学生は多いが、まだ就活の方法が分からず行動できていない学生もいる。未内定の学生が興味を持つ求人や企業を紹介して欲しい」と述べ、HW求人に期待を寄せていました。



15校で出張相談会、盛況

相談に訪れた学生は「第一志望の企業に応募したがうまくいかず就職活動が止まってしまった。これではいけないと一念発起し、今回の相談会に申し込んだ」と話し、企業探しの方法を相談。J Sから「自宅からでもインターネットでHWの求人票が見られるよ」とアドバイスを受け、就職活動を再スタートする一歩を踏み出しました。

出張相談会は今年、大阪市立大学が新たに増え府内15校で実施します。対象校は次の通り。

大阪市立大学▽プール学院大学・短期大学部▽関西外国語大学・短期大学部▽阪南大学▽四天王寺大学・短期大学部▽摂南大学▽大阪学院大学・短期大学部▽大阪経済法科大学▽大阪工業大学▽大阪樟蔭女子大学▽大阪成蹊大学・短期大学部▽帝塚山学院大学▽桃山学院大学▽大阪女子短期大学▽大阪商業大学